



R.I. D.2740 JAPAN
佐世保ロータリークラブ

会長: 中村 徳裕 幹事: 福田 金吾
事務所: 佐世保市島瀬町10-12 十八親和銀行 佐世保本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
例会場: レオプラザホテル佐世保 (毎週水曜日) TEL 0956-22-4141
http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail: src@circus.ocn.ne.jp

令和 5 年 6 月 14 日

第 3,485 回例会

NO 38

《本日》会員数 73 名(出席規定免除 21 名)・出席 52 名・欠席 21 名・(免除者欠席 8 名)・ビジター 0 名・出席率 71.23 %

《5月31日》会員数 72 名(出席規定免除 22 名)・出席 44 名・欠席 28 名・(免除者欠席 13 名)・メイクアップ 4 名・修正出席率 81.36 %

会長挨拶

会長 中村 徳裕

本日も多数のご出席を賜りありがとうございます。2022-23年度も、今回の例会を含めてあと3回の例会を残すのみとなり、最後の2回はクラブ協議会となりますので、「卓話」を聴く例会は本日が最後となります。今回は、年度のトリを務めていただく卓話として、株式会社テレビ長崎 (KTN) 佐世保支社長の松本祐明さんをお願いしております。



そこで今回は、例会のメインイベントである「卓話」、そして毎週発行している「週報」についてお話ししたいと思います。

先週は、佐世保市役所観光商工部部長の長嶋大樹様に「卓話」をいただきましたが、その概要を、佐世保ロータリークラブの公式ホームページ上の「週報」で、読むことができ、振り返ることができます。

まず、「卓話者の選定」には、古賀久貴委員長率いるプログラム委員会の皆様が苦勞を重ねて、出演交渉に当たっていただいています。1年間のご苦勞に感謝を申し上げます。

また、毎回の卓話者の方々は、ご本人様にもそしてその関係者の皆様にも、内容の準備や、資料作成など、大変なご苦勞をおかけしております。先週の長嶋部長様の場合も、何度もスタッフの皆様から資料についての確認などの連絡をいただき、お手数

をおかけし、感謝しているところです。

「週報」については、吉田英樹委員長率いるクラブ会報・広報委員会の皆様に、毎週の編集というご苦勞を重ねていただき、この「卓話」についても、しっかりと記録を残していただいております。

また「週報の改革」という意味で、数年前にハウステンボス・技術センター(株)の松尾貴会員が担当された際に、「電子化」＝「ホームページでの閲覧」を基本とする今の形式を作り上げていただき、それが今も継続しております。おかげで、公式ホームページにて、外部の方も含めて、貴重な記録を閲覧していただくことが可能となっております。

ところで、先週の長嶋部長様の卓話の中で、「ふるさと納税」についてもお話をいただきました。令和5年度の寄附目標は27億円ということです。佐世保市民である私たちは、佐世保市に寄附しても返礼品の特典を受けることができませんが、是非、市外のお知り合いに薦めていただいて、佐世保市の寄附額が目標に近づくように応援宣伝できたらと思っています。

それでは、本日の例会も充実したものになりますように、よろしく願いいたします。

入 会 式

■藤野 啓介さん

(株)十八親和銀行

取締役専務執行役員

推薦者／橘高 克和さん

(カウンセラー)

納所 佳民さん

委員会配属／出席・例会委員会

親睦活動委員会

入会のごあいさつ

本日、佐世保ロータリークラブに入会させていただきました十八親和銀行の藤野でございます。

4月に佐世保地区担当役員として着任して約2か月半、毎日佐世保中を走り回っております。このたびロータリーに入会させていただき、地域の錚々たるメンバーの皆さんから佐世保の事をより深く学びながら、地域に貢献できるよう頑張っておりますので、宜しくお願い申し上げます。



例 会 記 録

○ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」

幹 事 報 告

幹事 福田 金吾

1. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
(公財)ロータリー米山記念奨学会ニュース
ハイライトよねやま279号★

2023年6月12日発行

2. 日台ロータリー親善会議

総裁 吉田 雅俊さん

第8回 台北大会議長 栃木 一夫さん

(2023-24年度第2580地区ガバナー)

第8回日台ロータリー親善会議台北大会のご案内

開催日：2023年10月20日(金)

登録開始：14:30～ 会議

親善晚餐会：16:00～

会場：台北萬豪酒店

(MARRIOTT TAIPEI)

3. 地区ローターアクト第40回年次大会

実行委員長

馬場嵩一朗さん

年次大会お礼状

4. ガバナーエレクト事務所

2023～2024年度地区名簿作成に伴うお願い



委員会報告

■青少年奉仕委員会

委員長 坂元 崇

国際ロータリー第2740地区RYLAがホストクラブ佐世保西RCの下ホテルローライにて6月10日・11日の2日間にかけて開催されました。当クラブのローターアクトの藤野さん、韓国人留学生シンさん2人が参加いたしました。



「羽ばたく青少年集うロータリーファミリー～会社をつくろう！うごかそう～」をテーマに開催されました。20名の若者が4チームに分かれて、話し合いながら、会社を立上げ、もうける仕組みを考えていくアントレプレナー精神を学ぶ大変良い経験ができたのではと思います。

当クラブより安部副幹事と私が参加いたしましたことをご報告いたします。

朗遊会より

朗遊会幹事 池田 真秀

去る6月10日(土)に2023-2024役員交代式記念ゴルフコンペが佐世保カントリー石盛コースで行われました。



当日は次年度円田会長との写真撮影の後、晴天の中23名の方にご出席いただき、それぞれゴルフを楽しんでいただきました。

表彰式は7月1日役員交代式の際に行いますので、楽しみにしてください。

退会挨拶

陣内 純英さん

私は2018年1月に佐世保にUターンし、西海みずき信用組合の理事長に就任しました。その後1年数ヶ月後に中学の同級生の平尾幸一会員の



お誘いで入会しました。佐世保の有力者の皆様と親しくさせていただき、西海みずきのことにも認知していただいたのは、大変有意義だったと思います。

今回西海みずきを退任し、自宅のある燕三条に戻ります。ただ、お墓は大村にありますので、いずれ帰って参ります。その時はまた宜しくお願い致します。

大変お世話になり、ありがとうございました。

その他の報告

パスト会長 田中丸善弥

皆様へ訃報のお知らせ

カリフォルニア州ラホヤRCで活躍され皆様ご存知のタナーさん、そして奥様アリスさん



本当に残念なことですが、アリス（奥様）さんが11月1日に、そしてヤス・タナーさんもクリスマスイブに他界されたと、夫妻の姪御さんシャロンさんから連絡が参りました。

ご冥福をお祈り申し上げます。

慶 祝

親睦活動委員会 委員長 安福 竜介

○誕生月のお祝い

池田 豊さん（8日）

田村 和太さん（18日）

松本 祐明さん（23日）



ニコニコボックス

親睦活動委員会 前田 真一

中村 徳裕 会長、福田 金吾 幹事
安部 雅隆 副幹事、永瀬 徳豊 さん
松尾 貴 さん、西田 勝彦 さん
米倉洋一郎 さん、増本 一也 さん
前田 真一 さん、庭木 香充 さん
中島 顕 さん、福田 金治 さん
長島 正 さん、芹野 隆英 さん
吉田 英樹 さん、円田 昭 さん
山口 健二 さん、黒木 政純 さん
廣瀬 章博 さん、古賀 巖 さん
坂根 毅 さん、安福 竜介 さん
大神 邦明 さん、大神 吉史 さん
出端 隆治 さん、船越 温 さん
坂元 崇 さん、池田 真秀 さん
梅村 良輔 さん、長野 哲也 さん
筒井 和彦 さん、陣内 純英 さん
橋高 克和 さん、草津 栄良 さん
高田 俊夫 さん、松尾 慶一 さん

松本祐明さんの卓話に期待してニコニコ
します。

中村 徳裕 会長、福田 金吾 幹事
安部 雅隆 副幹事、梅村 良輔 さん
梅村尚一郎 さん、筒井 和彦 さん
安福 竜介 さん、庭木 香充 さん
橋高 克和 さん、出端 隆治 さん
谷川 辰巳 さん、米倉洋一郎 さん
中島 顕 さん、中村 真弥 さん
坂根 毅 さん、吉田 英樹 さん
池田 真秀 さん、大神 吉史 さん
永瀬 徳豊 さん、草津 栄良 さん
西田 勝彦 さん、中川 知之 さん
山口 健二 さん、古賀 巖 さん
加納洋二郎 さん、田中丸善弥 さん
平尾 幸一 さん、廣瀬 章博 さん
坂元 崇 さん

新会員藤野啓介さんの入会を歓迎してニ
コニコします。

池田 豊 さん、田村 和大 さん
松本 祐明 さん

誕生月のお祝い、ありがとうございます。

ニコニコボックス 本日合計 68,000円
累 計1,256,000円

「十八親和ペンギンハウスについて」

松本 祐明 さん

(テレビ長崎 佐世保支社長)

○十八親和ペンギンハウスに
関わったきっかけ

- 長女が元小児がんの患者。2008年4月～半年間、悪性リンパ腫の治療で長崎大学病院に入院
- 当時中学1年生だった娘はバドミントン部に入り、元気に暮らしていたが、入院する半年前から度々体調不良を訴えるように。血液検査を受けたところ、異常な数値が出て、すぐさま大学病院へ。
- 幸いなことに娘は半年の治療で無事退院。今28歳で社会人として福岡で暮らす。
- 娘が小児がんの闘病を経験したことをきっかけに、がんの子どもを守る会というボランティア団体で、小児がんの啓発や患者、その家族を支援する活動を始める。
- 十八親和ペンギンハウスは、がんの子どもを守る会を中心に一般社団法人を立ち上げ、施設の運営にボランティアとして関わっている。



○十八親和ペンギンハウスとは

- きっかけは、銀行の旧大学病院前支店の跡地活用策。
- 空き店舗となった支店を、小児がんや難病の子どもとその家族が宿泊できる施設に整備できないかと去年6月頃から話が進んでいった。

○施設の内容

- 施設は2階建ての旧銀行支店を十八親和銀行が宿泊施設として改装。宿泊できる部屋が5つ、食堂やキッチン、キッズスペースなどの共用スペースも。ランドリールームも備え、長期滞在も可能。
- 宿泊料1泊1部屋1000円で、各部屋にバス・トイレ完備。

○施設の運営

- 施設は一般社団法人長崎ペンギンの会で運営。
 - 十八親和銀行が改装し、ペンギンの会に無償貸し出し。
 - 長崎大学病院と連携を取りながら、十八親和銀行、がんの子どもを守る会と情報交換しながら進めている。
 - 長崎ペンギンの会には十八親和銀行の柿本総合企画部長や森内長崎大学教授も。その他、弁護士や元教諭、医療関係者など10名で構成。
 - 代表理事を務める野添氏は、2001年から別の場所でペンギンハウスとして夫婦で運営していた。そのノウハウをそのまま今回活用。
 - もう一人の代表理事が、私のKTNの先輩の福生で、この施設設置の相談を最初に当時の十八銀行に持ちかけた。
 - 名称は22年前からボランティアとしてペンギンハウスを運営していた野添氏に敬意を表し、その志を受け継ごうと残す。
- 今後の課題
- 「県民の皆様への認知度アップ」「ボランティアの継続的確保」「活動のための寄付金」
 - ボランティアは現在20人ほど、ほとんどが70代80代。
 - 施設は長崎市だが、利用者は県北や離島の方が多くなる。佐世保市の皆様の利用も多くなるのでは。
 - 是非、皆様のお力添えをお願い致します。

旧大学病院前支店の跡地活用 子どもの難病支援施設としての活用

今回、旧大学病院前支店を

小児がんや難病の子ども、その家族が宿泊できる施設 **十八親和ペンギンハウス** として整備いたしました。

【十八親和銀行が本件を取り組む意義・理由】

- 小児がん等の子どもへ高度医療を提供できる病院は限られ、長崎では多くが長崎大学病院での治療となります。遠方から治療に通う子ども、家族は治療費に加え、交通費や宿泊費などの「経済的負担」や「肉体的負担」、「精神的負担」が非常に大きいという問題があり、それらの重い負担を支える施設は、特に難病を有する長崎こそ必要となる地域です。
- 十八銀行と親和銀行の合併は県民の皆さまの後押しがなければ実現できませんでした。その長崎県のために力を尽くしていくことが私たちの使命です。本件は、難病の子ども・家族に少しでも心のやすらぎを提供できる施設です。長崎大学病院に隣接する本跡地は、まさにこの施設運営に適した場所であり、これを提供し活用していただくことが、地元の方々の役に立てるのではと考えました。

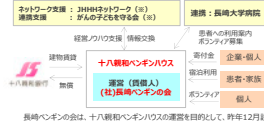
【経緯】

2019.11	2022.4	2022.6	2022.7	2022.11	2023.1
店舗組合公表における「跡地に真する活用を検討している」旨の記載を認めた。小児がん治療を行う医療向けの宿泊施設としての利用の相談を受ける。	2022年3月で店舗組合が完了。本施設跡地活用の検討に着手。	旧大学病院前支店の活用検討に着手。公衆衛生を半信半疑としており、がんの子どもを守る会の臨床幹事に、意向に変わりが無いことを確認。	行内で長崎県の現状を踏まえた難病支援施設の必要性を共有。活用に向けて進めていくことを決定。	長崎大学病院や金融庁との協議を経て、実行役員会で十八親和ペンギンハウスとしての活用を最終決定。	十八親和ペンギンハウスとしての活用を公表。

施設の運営

- 施設は(社)長崎ペンギンの会(2022年12月新設)が運営
- 当行が子どもの難病支援施設として改装し、(社)長崎ペンギンの会に無償貸出し

【運営スキーム図】



施設の名称について

21年前からボランティア活動で「ペンギンハウス」を運営され、長崎ペンギンの会代表理事に就任した野添氏に敬意を表し、その志を引き継ぐ意味からも名称を継承すべくと考え、施設名を「十八親和ペンギンハウス」としました。

< 代表理事 野添氏が代表を務めるペンギンの会 >

- ✓2001年ボランティアGとして発足
- ✓長崎市上山町の九州電力社宅を賃借し「ペンギンハウス」として夫妻で運営
- ※十八親和ペンギンハウス稼働後は本施設運営は終了



※ 2004年ネットワーク：全国の難病支援施設をつなぐネットワーク。全国125施設が加盟
※ がんの子どもを守る会：小児がんの患者や家族が抱えている困難・悩みの解決に向けた活動の推進

長崎ペンギンの会は、十八親和ペンギンハウスの運営を目的として、昨年12月設立

【長崎ペンギンの会 構成員】

役職	氏名	備考
代表理事	野添 修士	ペンギンの会代表
代表理事	福生 泰彦	がんの子供を守る会 西九州支部幹事
監事	林本 修	十八親和銀行 総合企画部長
顧問	森内 浩幸	長崎大学病院 小児科教授

- ✓ 当行組合企画部長が監事に就任し、運営運営状況を確認
- ✓ 長崎大学の宮内教授が顧問就任。様々な知見からのアドバイスもいただく
- ✓ 上記4名のほか、2名の理事、1名の顧問、3名の社員の計10名で構成。弁護士、元教師、医師関係者等、万全な体制
- ✓ 県北、離島在住者も就任いただき、県内各地への周知と利用を促進

施設の概要①

- 2階および1階の一部を宿泊施設として改装。1階のその他の部分はテナントとして外部賃貸を予定

【施設概要】

施設名	十八親和ペンギンハウス (旧大学病院前支店)
住所	長崎市坂本1-5-2
2階	洋室2室 (シングル1、ダブル1) 和室2室 共有スペース (玄関、キッチン、キッズスペース) ランドリールーム、管理入室
1階	洋室1室 (ダブル、バリアフリー仕様)、外部テナント

- ✓ 2階は長期滞在を考慮し、自由に使用できるキッチン、ランドリールームを設置
- ✓ 共有スペースはボランティア等への研修もできるスペースとして整備
- ✓ 1階の1室は車いすの方も使用できるバリアフリー仕様

【施設外観】



最後に

< 今後の課題 >

- ① 県民の皆さまへの認知度アップ
- ② ボランティアの継続的な確保
- ③ 活動のための寄付金

- ✓ 施設は長崎市にありますが、利用者は県北や離島の方が多くなるはず。人口から見れば佐世保市の皆さまの利用が最も多くなるのではと考えています。
- ✓ 是非、皆さまのお力添えをお願いします。

施設の概要②

- 宿泊料は1泊1部屋1,000円、各部屋にバス・トイレ完備



- * 今後の例会予定 *
- 6月21日 クラブ協議会
- 28日 クラブ協議会
- * 西海学園高等学校インターアクトクラブ例会予定 *
- 未定
- * 長崎国際大学ローターアクトクラブ例会予定 *
- 未定

* 西海学園IAC、長崎国際大学RACにご出席されますと、メイクアップにもなりますのでご活用ください。
* RACへご出席される方はお食事の要・不要の確認をいたしますので、事務局までお知らせください。

(今週の担当：中村 真弥)
(カメラ担当：吉田 英樹)

<h2>クラブ会報・広報委員会</h2>	委員 長：吉田 英樹	委員：船越 温・中村 真弥
	副委員長：中島 顕	庭木 香充